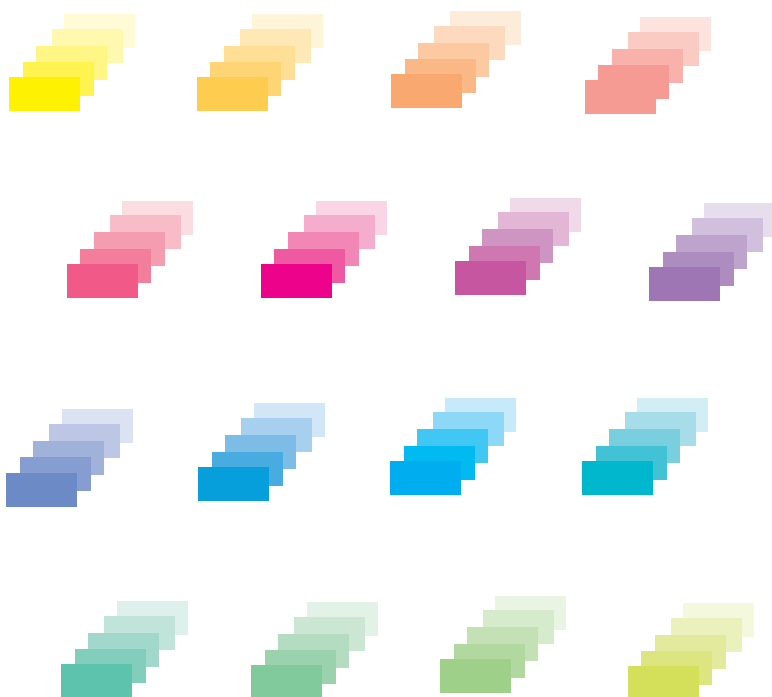
フォト マッハジェット カラープリンタ

PM-7000C

セットアップガイド

プリンタの準備から、プリンタソフトウェアのセットアップまでを記載しています。

- 本機の紹介
- プリンタ本体の準備
- Windows 環境でのセットアップ
- Macintosh 環境でのセットアップ
- Network 環境との接続

ー本書は、プリンタの近くに置いてご活用くださいー

4011750-02
XXX

取扱説明書の種類と使い方

本製品には次の取扱説明書が同梱されています。

開梱と据置作業を行われる方へ

本機の購入時に、開梱・据置作業を行う方がお読みください。
梱包箱を開けてから、同梱品の取り出しと確認、据置に適した場所へ移動するまでの手順について説明しています。

安全にお使いいただくために/サービスサポートのご案内

本機を安全にお使いいただくために必ず守っていただきたいことや気をつけていただきたいことを説明しています。本機をお使いいただく前に必ずお読みください。
また、弊社が提供している各種サービス・サポートについてのご案内もしています。

セットアップガイド（本書）

本機の購入時にセットアップ作業を行う方がお読みください。
同梱品の取り付けや動作確認、必要なソフトウェアのセットアップなど、本機を使用可能な状態にするまでの手順を説明しています。

ユーザーズガイド

本機のハードウェア部分の操作方法や印刷方法、用紙詰まりやエラーメッセージが表示された場合の対処方法などを章ごとに説明しています。本機を使用する際には、お客様の目的や必要に応じて該当する章をお読みください。

本書のご案内

本書は、開梱・据置作業が完了した本機に同梱品を取り付けたり、必要なソフトウェアをセットアップするなど、本機を使用可能な状態にするまでの手順を説明しています。作業を安全に正しく行うために、必ず以下の順番で本書をお読みいただき、説明されている作業手順や注意事項に従ってください。

「本機の紹介（7 ページ）」を読みます。

本機の特長や、本機各部の名称や働きなど、お使いの前にあらかじめ知っておいていただきたいことを記載しています。

「プリンタ本体の準備（11 ページ）」を読みます。

電源ケーブルやインクカートリッジ、ロール紙といった同梱品の取り付けと、動作確認の方法を記載しています。

Windows 環境でお使いの場合

「Windows環境でのセットアップ（31ページ）」を読みます。

本機とWindows環境のコンピュータとを接続し、必要なプリンタドライバをインストールする手順を記載しています。

Macintosh 環境でお使いの場合

「Macintosh環境でのセットアップ（43ページ）」を読みます。

本機とMacintosh環境のコンピュータとを接続し、必要なプリンタドライバをインストールする手順を記載しています。

Network 環境でお使いの場合

「Network 環境との接続（51 ページ）」を読みます。

本機を Network 環境で使用する場合の手順を記載しています。

これ以降は、必要に応じて「ユーザーズガイド」をお読みください。

4011750

本書の構成

詳しいもくじは次のページにあります。

Windows をお使いの方がお読みください

Win

Macintosh をお使いの方がお読みください

Mac

もくじ

本書中のマーク、表記について

マーク

本書中では、別冊「安全にお使いいただくために / サービスサポートのご案内」の2ページで説明しているマークの他にもいくつかのマークを用いて重要な事項を記載しています。
マークが付いている記述は、必ずお読みください。
なお、それぞれのマークには次のような意味があります。

マーク	意味
⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、プリンタ本体が損傷する可能性が想定される内容を示しています。
	お取り扱い上、必ずお守りいただきたいこと（操作）、知っておいていただきたいことを記載しています。
用語[*1]	分かりにくい用語の説明を、欄外に記載している事を示しています。
☞	関連した内容の参照ページを示しています。

表記

Microsoft® Windows® 95 operating system 日本語版
Microsoft® Windows® 98 operating system 日本語版
Microsoft® WindowsNT® operating system Version4.0 日本語版
の表記について

本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、
Windows95、Windows98、WindowsNT4.0 と表記しています。また、Windows95、Windows98、WindowsNT4.0 を総称する場合は「Windows」、複数の Windows を併記する場合は、「Windows95/98/NT4.0」のように Windows の表記を省略することがあります。

第 1 章

本機の紹介

ここでは、本機の特長や各部の名称について説明をしています。

本機の特長

本機はA1ノビサイズの用紙に対応した大判フォトマッハジェット・カラープリンタです。さらに磨きをかけたEPSONのフォト・マッハ技術により、「写真」に劣らない高画質を実現しました。肌の質感や微妙なグラデーションに至るまで、まさに「写真高画質」と呼べる美しい印刷が可能になりました。

本機の主な特長は次の通りです。

● 610mm（24インチ）幅に対応

610mm（24インチ）幅のロール紙に対応。デザイン画などの大判プリントが手軽に出力できます。また手差し給紙によってA4からA1ノビサイズの単票紙への出力も可能です。

● 使いやすさの追求

完全前面操作を実現し、使い勝手のよさを追求しました。さらにフロントパネルの採用により、さまざまな設定が簡単に操作できます。

● 高画質印刷の実現

1440dpiの高画質印刷を高速に行います。

● さまざまなメディアに対応

用途に応じた品質の用紙（マット紙、フォトプリント紙、半光沢フォト紙）をお使いいただけます。高画質印刷を実現するためにさまざまな専用メディアを用意しました。さらに、単票紙は1.5mm厚の厚紙に対応していますので、ボード用の印刷物にもお使いいただけます。

● 大容量インクの搭載

6色独立の大容量インクカートリッジを搭載し、A1判フルカラー（720dpi印刷）で約28枚（各色40%duty）の印刷が可能です。すべてのインクが独立型のため、使い切ったカートリッジだけを交換できます。

● 多彩なオプションを用意

専用スタンド（PM70STD。キャスター付き）により、オフィス内の移動も簡単。また、ポストスクリプトサーバー（PS-6100）の接続により、PostScriptプリンタとしてお使いいただけます。

● データ転送速度の高速化

データ展開用の10MByteメモリを内蔵。ECP対応パラレルインターフェイスとUSB（Universal Serial Bus）を標準装備。Windowsだけでなく Macintoshでも高速のデータ転送を可能にしました。またオプションのネットワークインターフェイスカードを装着することにより、マルチプロトコルネットワーク環境へも対応できます。

各部の名称と働き

本体正面

スピンドル受け
ロール紙のスピンドルをセットします。

給紙スロット
用紙の給紙溝です。

用紙カバー
ロール紙の着脱時に開けます。通常は閉じておきます。

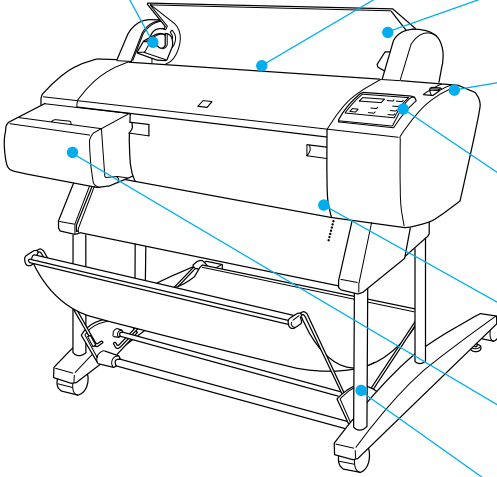
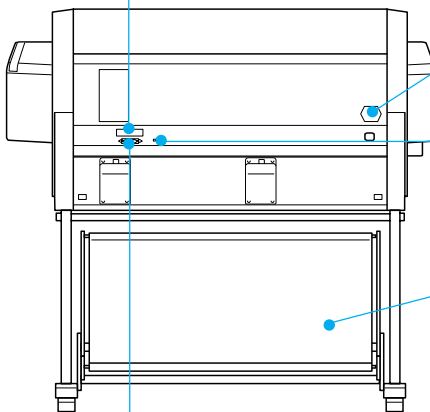
用紙セットレバー
用紙を固定または解除するレバーです。

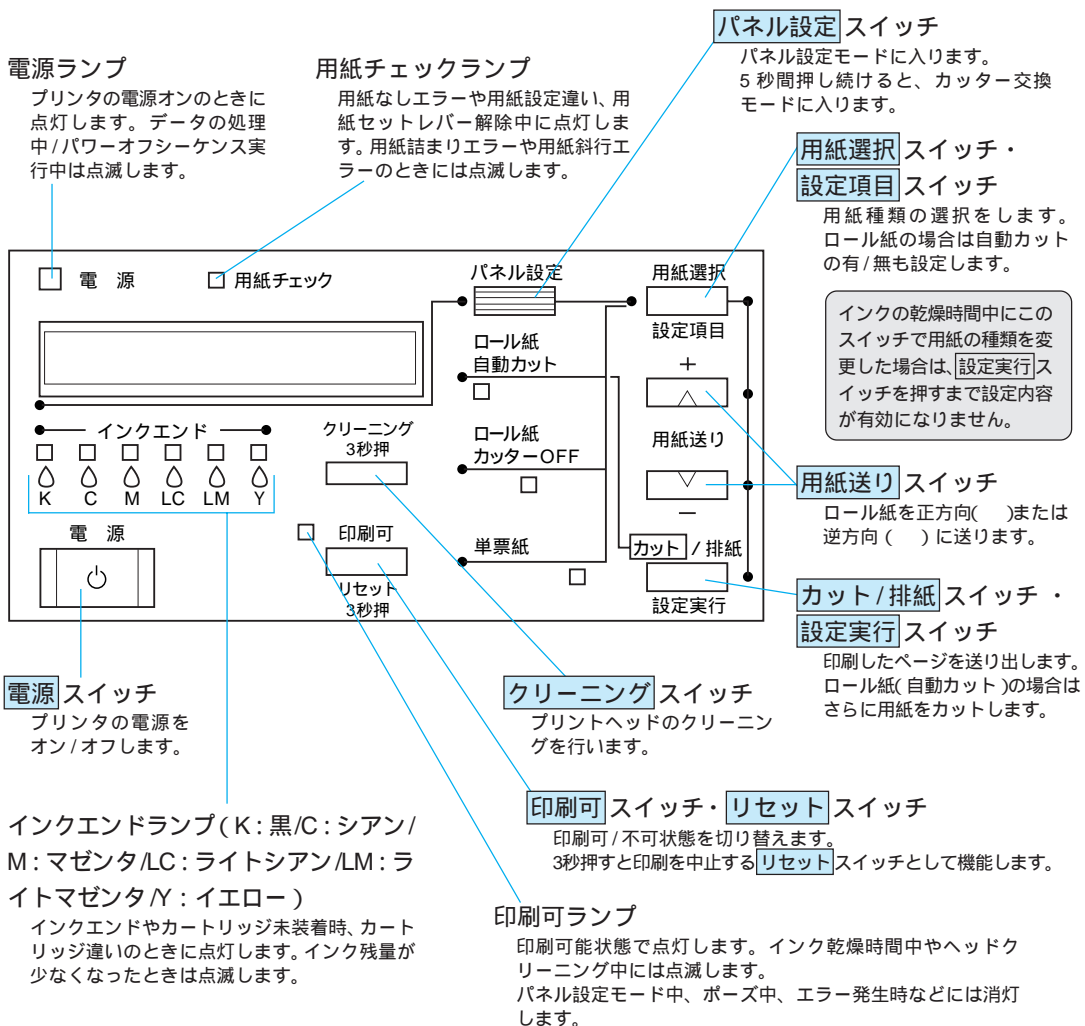
> 電源ランプまたは印刷可ランプが点滅しているときや印刷中は操作しないでください。

操作パネル
各種のスイッチやランプなどがあります。
詳細は→次ページ

フロントカバー
カッター交換時や紙詰まり時に開けます。通常は閉じておきます。

インクカートリッジ収納ボックス
インクカートリッジを取り付ける場所です。

専用スタンド
（オプション。型番 PM70STD）

本体背面

操作パネル

パネル設定モード中の各スイッチの機能については、ユーザーズガイドの「パネル設定モード」を参照してください。

第 2 章

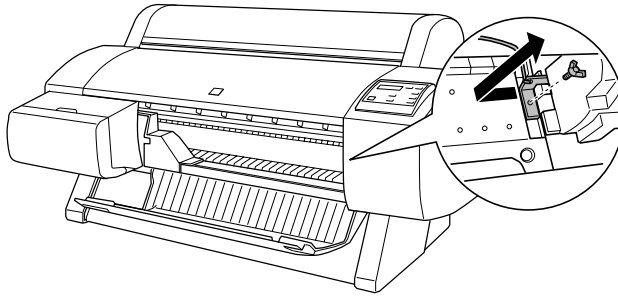
プリンタ本体の準備

ここでは、輸送のために付けられている保護材を取り外し、同梱品を取り付け本機を使用可能な状態にするまでの手順を説明しています。

保護材の取り外し

本製品には下図の個所に保護材が取り付けられています。以下の手順に従って全ての保護材を取り外してください。

フロントカバーに貼られているテープを外します。

フロントカバーを開け、プリントヘッドユニット固定用保護材（金属板）を外します。

オプションの取り付け

オプションを同時購入されて取り付ける場合は、以下の参照先をご覧いただき、作業を行ってください。

- インターフェイスカード　☞ユーザーズガイド「インターフェイスカードの取り付け」
- 専用スタンド　☞専用スタンドに添付の取扱説明書および開梱と据置作業を行われる方へ「専用スタンドの取り付け」

⚠警告
インターフェイスカードやオプション製品を接続するときは、必ずプリンタ本体の電源をオフにして電源プラグをコンセントから抜いてください。 感電の原因となることがあります。
各種コード（ケーブル）は、取扱説明書で指示されている通りの配線をしてください。 配線を誤ると、火災のおそれがあります。

同梱品の取り付け

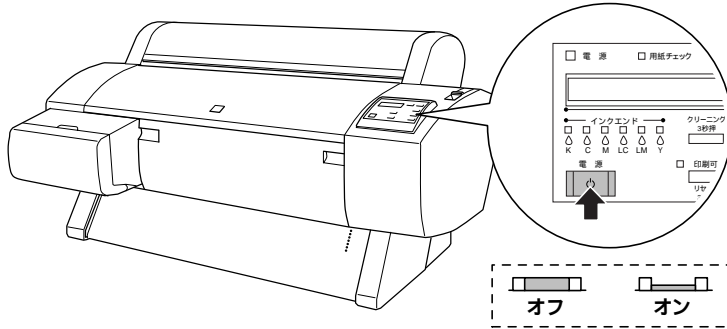
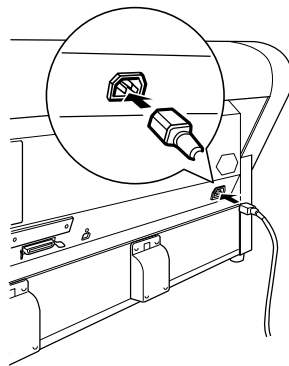
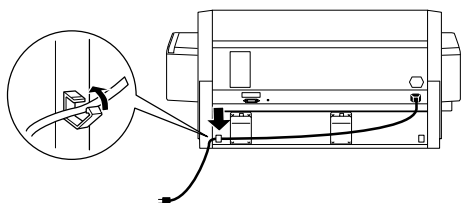
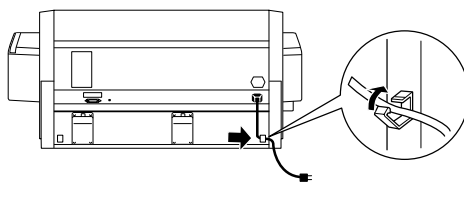
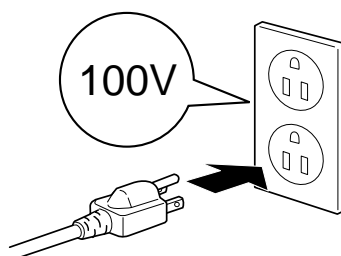
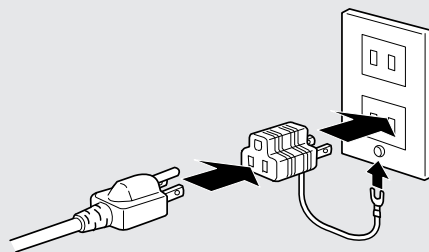
⚠注意

作業の前に必ず別冊の「安全にお使いいただくために/サービスサポートのご案内」をお読みいただき、正しい取り扱いをしてください。

電源ケーブルの接続

⚠警告

同梱されている電源ケーブル以外の電源ケーブルを使用しないでください。
感電・火災の原因となります。

1. **プリンタ本体の 電源 スイッチがオフになっていることを確認します。**
電源 スイッチが奥に押しこまれているときはオンになっていますので、一度スイッチを押してオフにしてください。

2. **プリンタ背面の AC インレットに電源ケーブルを接続します。**

電源ケーブルをプリンタ背面のクランプに取り付けます。
据置場所によりプリンタ背面の左または右にケーブルを配線してください。

■背面左に取り付ける場合　　　■背面右に取り付ける場合

4 **電源ケーブルのプラグをコンセントに正しく差し込みます。**
次ページの「警告」を参照してください。

コンセントに３芯のプラグを差し込めない場合は、同梱の３芯２芯変換コネクタを使用してください。

3芯2芯変換コネクタのアースを次のいずれかの場所に必ず接続してください。

- **電源コンセントのアース端子**
- **銅片などを 650mm 以上地中に埋めた物**
- **接地工事（第3種）を行っている接地端子**

ご使用になる電源コンセントのアースを確認してください。アースが取れない場合や、アースが施されていない場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

⚠警告

表示されている電源（AC100V）以外は使用しないでください。
指定外の電源を使うと、感電・火災の原因となります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となります。

電源ケーブルのたこ足配線はしないでください。
発熱し火災の原因となります。
電源コンセント（AC100V）から電源を直接取ってください。

電源プラグの取り扱いには注意してください。
取り扱いを誤ると火災の原因となります。
電源プラグを取り扱う際は、次の点を守ってください。
- 電源プラグはホコリなどの異物が付着したまま差し込まない
- 電源プラグは刃の根元まで確実に差し込む

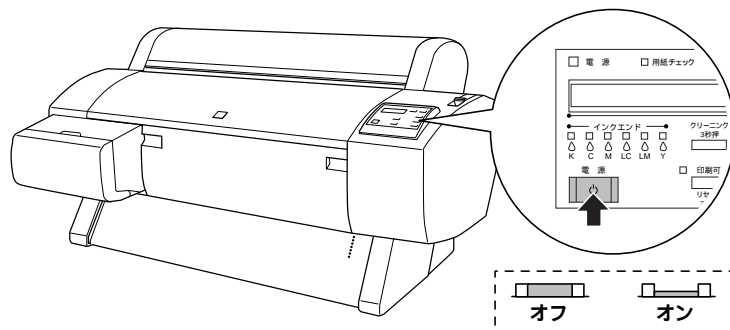
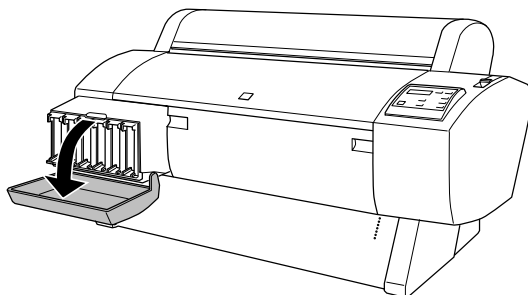
アース線を接続しない状態で使用しないでください。
感電・火災の原因となります。
万一、漏電した場合の感電や火災事故を防ぐために、3芯のプラグを接続できない場合は、3芯2芯変換コネクタのアースを必ず次のいずれかに取り付けてください。
- 電源コンセントのアース端子
- 銅片などを650mm以上地中に埋めた物
- 接地工事（第3種）を行っている接地端子

ご使用になる電源コンセントのアースを確認してください。アースが取れない場合や、アースが施されていない場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

次のような場所には、絶対にアース線を接続しないでください。
- ガス管（引火や爆発の危険があります）
- 電話線用アース線および避雷針（落雷時に大量の電流が流れる可能性があるため危険です）
- 水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません）

インクカートリッジの取り付け

6 個のインクカートリッジを所定の場所に取り付けます。

プリンタの 電源 スイッチをオンにします。
プリンタは初期動作[*1]を行います。
インクエンドランプが点灯し、パネルに「カートリッジガアリマセン」と表示されます。

インクカートリッジ収納ボックスのカバーを開けます。

⚠ 注意

インクカートリッジ収納ボックスのカバー開閉時には、指を挟まないように注意してください。

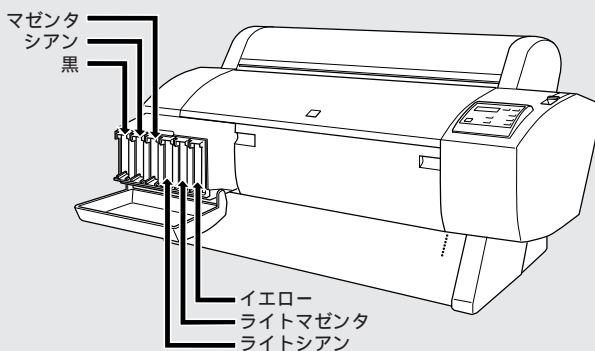
インクカートリッジを袋から出します。

⚠ 注意

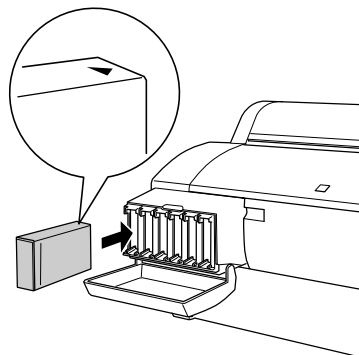
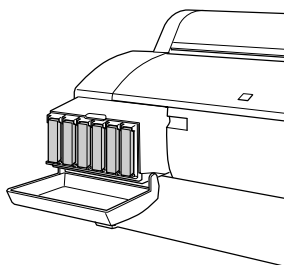
インクカートリッジを取り扱うときは、インクが目に入ったり皮膚に付着しないように注意してください。
目に入ったり皮膚に付着した場合は、直ちに水で洗い流してください。そのまま放置すると、目の充血や軽い炎症を起こすおそれがあります。万一、異状がある場合は、直ちに医師にご相談ください。

インクカートリッジは強く振らないでください。
強く振り回したりすると、カートリッジからインクが漏れることがあります。

*1 初期動作：電源スイッチをオンにしたときに行われる、プリンタのウォーミングアップです。プリントヘッドが左右に少し動き、エラー状態などを検査します。

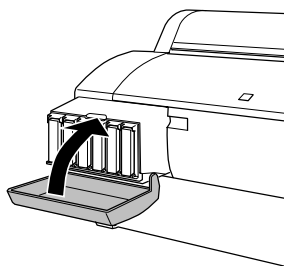
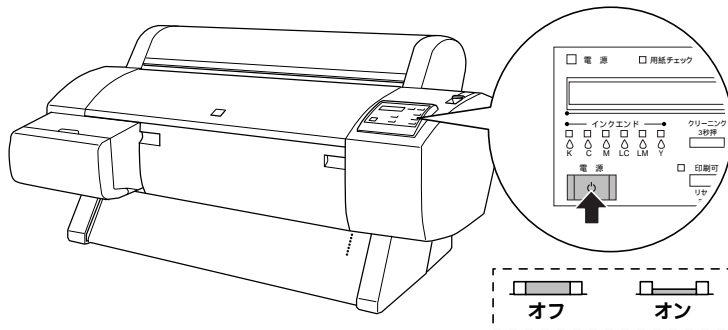
- インクカートリッジはどの色から取り付けてもかまいませんが、色によって装着するスロットが決まっています。スロット手前のマークの色とインクの色、記載されている型番（IC1*07）とインクカートリッジの型番を合わせて取り付けてください。（*はインクの色で異なります。）ここでは左側から順に、黒→シアン→マゼンタ→ライトシアン→ライトマゼンタ→イエローと取り付けます。

- インクカートリッジは誤挿入防止構造になっています。スロットにスムーズに挿入できない場合は、誤挿入の可能性があります。無理やり押し込んだりしないでください。

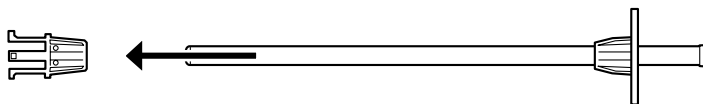
黒のカートリッジスロットに黒のインクカートリッジを取り付けます。

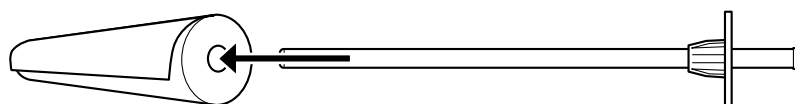
インクカートリッジの▲マークを上にして、プリンタ側に向けて挿入します。
インクカートリッジはスロットの奥までしっかり挿入し、インクエンドランプが消灯したことを確認してください。

4と同様に、シアン→マゼンタ→ライトシアン→ライトマゼンタ→イエローのカートリッジスロットにそれぞれのインクカートリッジを取り付けます。

6個のインクカートリッジが全て取り付けられて、6つのインクエンドランプが消灯すると自動的にインクの初期充てんが始まります。インクの充てん中は印刷可ランプが点滅しパネルに「インクジュウテン xxx%」と初期充てんの進行状況が表示されます。

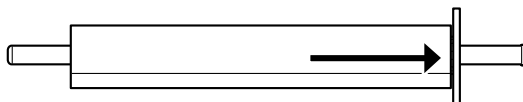
インク充てんは約5分かかり、5分の間に充てん動作と休止動作を繰り返します。印刷可ランプの点滅が止まると充てんが終了します。

インク充てん中は以下のことを必ず守ってください。
- **電源 スイッチをオフにしない**
- **電源ケーブルを抜かない**
- **フロントカバーを開けない**
- **用紙セットレバーを後ろに倒さない**

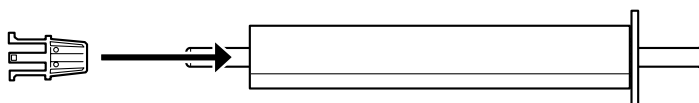
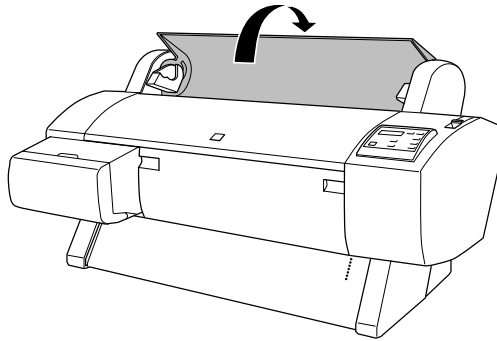
6 インクカートリッジ収納ボックスのカバーを閉じます。
カバーが固定されるまでしっかり閉じてください。

7 初期充てんが終了し、印刷可ランプの点滅が止まっていることを確認してから、電源 スイッチをオフにします。

ロール紙の取り付け

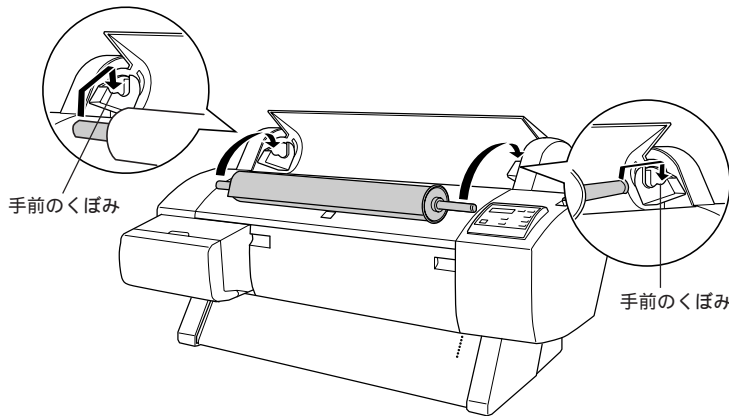
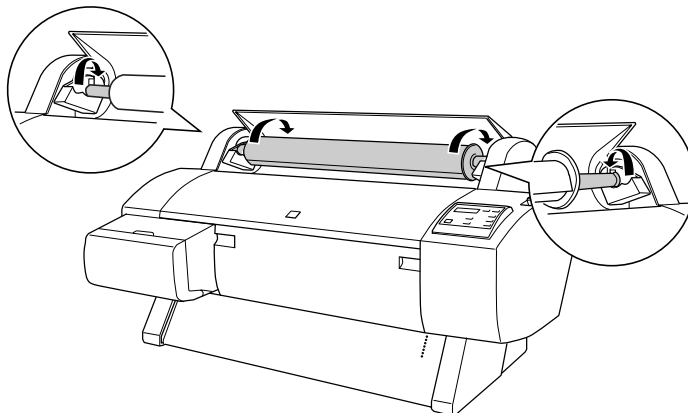
スピンドルにセットされている可動用紙ストッパを取り外します。
可動用紙ストッパをスライドさせて外します。

可動用紙ストッパ（ネジ止めなし）　固定用紙ストッパ（ネジ止めあり）

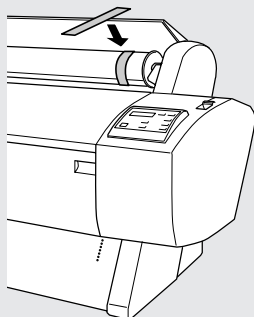
スピンドルにロール紙をセットします。
①固定用紙ストッパ方向から見て左巻きになるようにロール紙をセットします。

ロール紙は机の上など平らな場所に置いた状態でセットしてください。

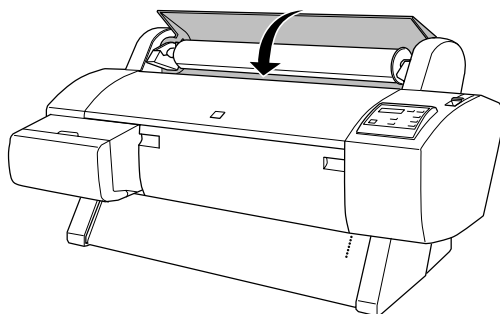
②固定用紙ストッパの右端にロール紙の芯が突き当たるまで押し込みます。

可動用紙ストッパを取り付けます。
ロール紙の芯にしっかり固定されるまで押し込みます。

用紙カバーを開けます。

⚠注意

用紙カバーの開閉時には、指を挟まないように注意してください。

固定用紙ストッパ側を右側にして持ち、スピンドル受けの手前のくぼみまで一旦持ち上げます。

スピンドルの両端をプリンタのスピンドル受けの奥のくぼみにセットします。

左右のスピンドル受けの色とスピンドル端部の色を合わせてセットしてください。セット方向を間違えると正常な給紙ができません。

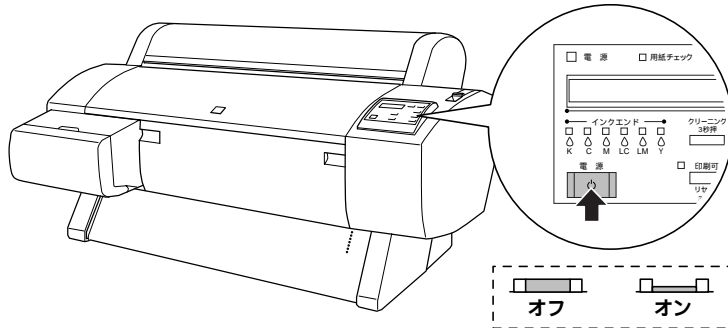
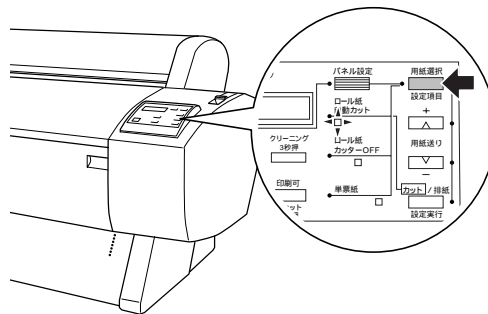
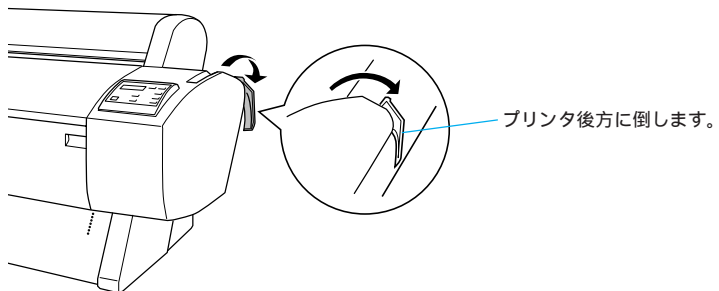
同梱されているロール紙固定ベルトは、プリンタにセットされている未使用のロール紙の巻きほぐれを防止するためのベルトです。ベルトの端をロール紙に当て、ロール紙を回しながら巻き付けます。

7 **用紙カバーを閉じます。**

カバーが固定されるまでしっかり閉じてください。

動作確認

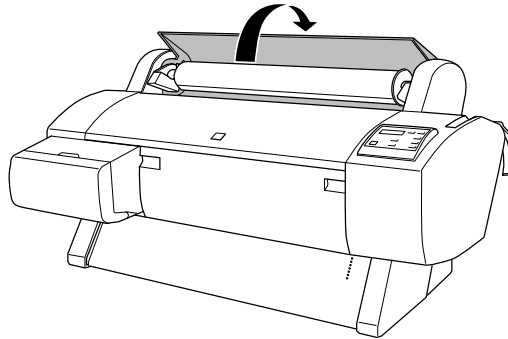
プリンタが正常に動作するかを確認します。ここでは、プリントヘッドのノズルが目詰まりしていないか（ノズルチェック）、双方向印刷時にプリントヘッドのズレが生じていないか（ギャップ調整）を確認します。

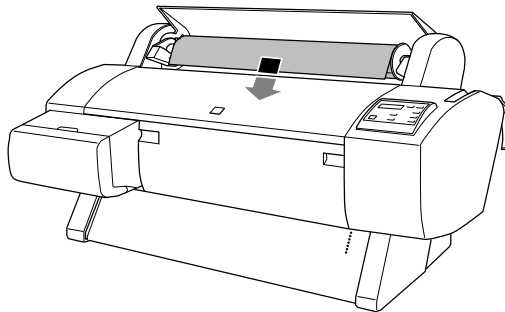
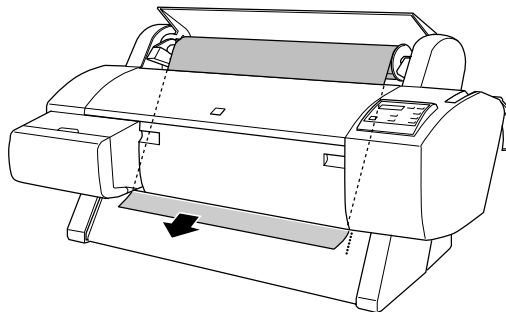
用紙のセット

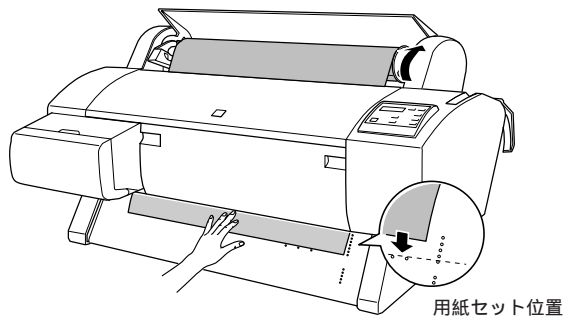
1 プリンタの 電源 スイッチをオンにします。

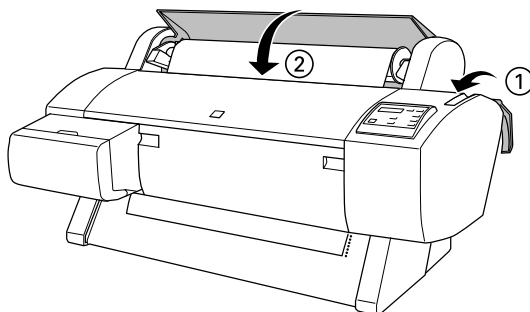
電源ランプが点灯します。

2 用紙選択 スイッチで「ロール紙自動カット」を選択します。

3 用紙セットレバーを後ろに倒します。

電源ランプまたは印刷可ランプが点滅しているときは、用紙セットレバーを操作しないでください。

用紙カバーを開けます。

⚠注意

用紙カバーの開閉時には、指を挟まないように注意してください。

 ロール紙を給紙スロットにセットします。

6 フロントカバーの下方からロール紙を引き出します。

ロール紙の先端がフロントカバーの下方から出てこない場合は、フロントカバーを開けて用紙を下向きに送り出してください。フロントカバーを開けるときは、両端のつまみを持ち、手前に引いて開いてください。

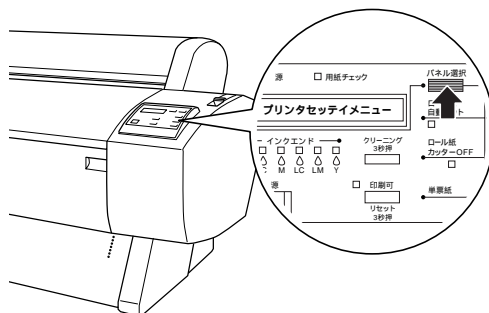
用紙先端を押さえながら、スピンドルを持ってロール紙を少し巻き戻し、用紙のたわみを取り除きます。用紙全体にたわみが生じないようにしてください。
ロール紙の先端を用紙セット位置に合わせてください。

注 意
ロール紙の先端が用紙セット位置より長すぎたり短すぎると用紙を巻き上げきれずにエラーとなります。ロール紙先端の用紙セット位置から2cm以内の引き出し量で用紙をセットしてください。

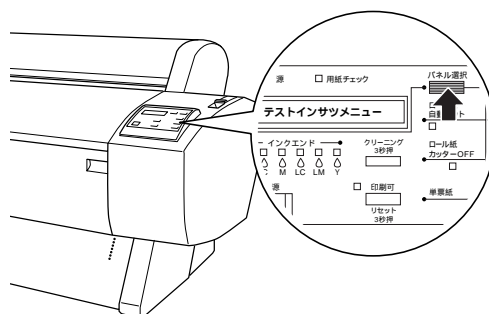
用紙セットレバーを手前に戻してから、用紙カバーを閉じます。
パネルに「[インサツカ] スイッチヲオシテクダサイ」と表示されます。

ロール紙の先端に汚れや折れなどがある場合は、カット/排紙スイッチを押して、先端部をきれいに切り揃えてください。

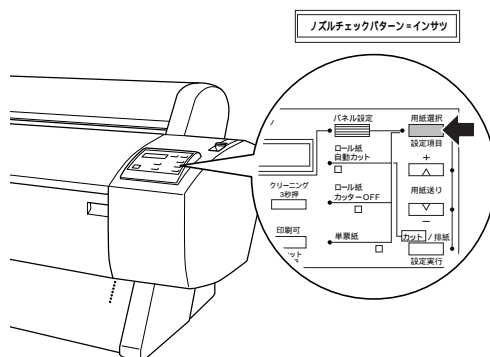
印刷可スイッチを押すか、そのまましばらく放置すると、自動的にプリントヘッドが動いて、用紙幅と用紙先端のチェックを行い、印刷開始位置まで用紙を巻き上げて待機し、パネルに「インサツカノウ」と表示されます。

ノズルチェックパターン印刷

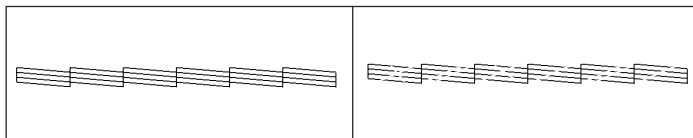
1 **パネル設定 スイッチを押して、パネル設定モードに入ります。**

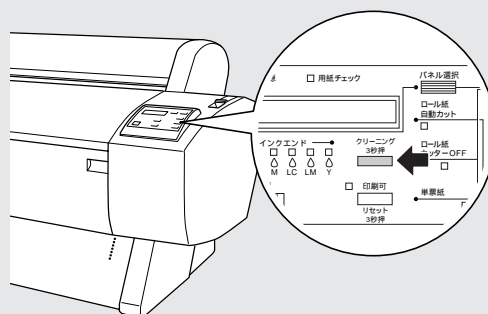
パネルに「プリンタセッテイメニュー」と表示されます。

2 **パネル設定 スイッチをもう１回押します。**

パネルに「テストインサツメニュー」と表示されます。

3 **設定項目 スイッチを押します。**

パネルに「ノズルチェックパターン＝インサツ」と表示されます。

設定実行 スイッチを押します。

ノズルチェックパターンが印刷されます。

■良い例　　　　■悪い例

ポイント

悪い例のようにノズルチェックパターンが欠けている場合は、ヘッドクリーニングを行ってください。
ヘッドクリーニングは クリーニング スイッチを 3 秒押すと実行します。

ヘッドクリーニングを実行したら、再度ノズルチェックパターンの印刷を実行してください。
ヘッドクリーニング後もノズルチェックパターンが欠けている場合は再度クリーニングを実行してください。数回クリーニングを行っても改善されない場合は、お買い求めの販売店へご連絡ください。

続いて「ギャップ調整」を行います。

ギャップ調整

パネル設定 スイッチを「ギャップチョウセイメニュー」と表示されるまで押します。

全ての調整パターンを印刷してみます。

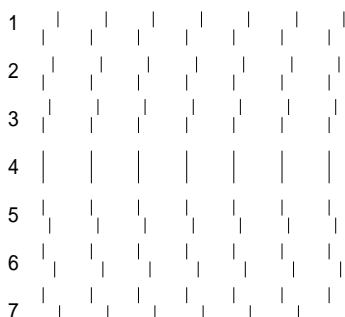
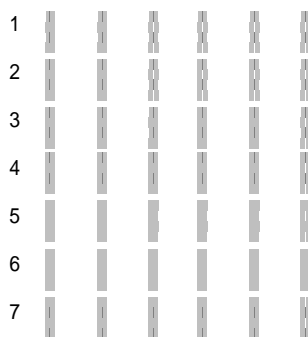
> **ギャップ調整の全ての調整パターンを印刷すると、約15分かかります。ロール紙を約1.5m使用します。**

① 設定項目 スイッチを押すと「ヨウシアツ＝ヒョウジュン」と表示されます。設定実行 スイッチを押します。

②「チョウセイ＝ゼンブ」と表示されていることを確認して 設定実行 スイッチを押します。「チョウセイパターン インサツチュウ」と表示されて全ての調整パターンが印刷されます。

■印刷例

■ #6、#8 以外の印刷例

1
2
3
4
5
6
7

■ #6、#8 の印刷例

> **• 印刷例のように全ての調整パターンのパターン番号4が最も ズレの少ない線または中央の線がめだたない長方形になっている場合はプリントヘッドのギャップ調整を行う必要がありません。印刷可 スイッチを押してパネル設定モードを終了し、6 に進んでください。**
> **• 調整パターンごとに最もズレの少ない線または中央の線がめだたない長方形が4以外になっている場合は、3 に進んでください。**

印刷が終了するとパネルに「＃１セッテイ＝４　＊」と表示されます。

印刷されたシートを見て、調整パターンごとに最もズレの少ないパターン番号を探します。

設定項目スイッチを押すたびに、調整パターン名が以下の順に変わります。調整パターンごとに3で探した最もズレの少ないパターン番号（1～7）を登録します。

調整パターン（設定項目）	パターン番号（設定値）
＃1セッテイ	1～7（4が初期値）
＃2セッテイ	1～7（4が初期値）
＃3セッテイ	1～7（4が初期値）
＃4セッテイ	1～7（4が初期値）
＃5セッテイ	1～7（4が初期値）
＃6セッテイ	1～7（4が初期値）
＃7セッテイ	1～7（4が初期値）
＃8セッテイ	1～7（4が初期値）
＃9セッテイ	1～7（4が初期値）
＃10セッテイ	1～7（4が初期値）
＃11セッテイ	1～7（4が初期値）
＃12セッテイ	1～7（4が初期値）

パターン番号を変更する場合は、以下の手順に従ってください。
① 設定項目スイッチを押して設定値を変更する調整パターン名を選択します。
② ＋または－スイッチでパターン番号（1～7）を選択します。
＋を押すと、設定値の数値が増加します。
－を押すと、設定値の数値が減少します。
③ 設定実行スイッチを押すと、設定値の後に＊（アスタリスク）マークが付き、選択した値を登録し、次の調整パターン名を表示します。
④ ①～③の作業を繰り返して、変更が必要な全てのパターンについて設定をします。

設定が終了したら、再度調整パターンの印刷を行い（1～2参照）、調整が正しくされたことを確認します。
再印刷した結果、各調整パターンのパターン番号4が最もズレの少ない線または中央の線がめだたない長方形になっていれば調整が正しく行われています。

ポイント

- **調整が正しく行われていない場合は、再度4～5の手順を繰り返してください。**
- **全部の調整パターンを印刷する必要がない場合は、以下の手順で任意のパターンのみを印刷させることができます。**
  ① パネル設定スイッチを「ギャップチョウセイメニュー」と表示されるまで押します。
  ② 設定項目スイッチを押して「ヨウシアツ＝ヒョウジュン」と表示されたら、再度設定項目スイッチを押します。「チョウセイ＝ゼンブ」と表示されます。
  ③ ＋または－スイッチで印刷したい調整パターン名を選択して設定実行スイッチを押します。パネルに「チョウセイパターン　インサツチュウ」と表示されて任意のパターンを印刷します。
  ④ パターン番号4が最もズレの少ない線または中央の線がめだたない長方形になっているかを確認します。
  4以外になっている場合は再調整します。

印刷可 スイッチを押して、パネル設定モードを終了します。

パネルに「インサツカノウ」と表示されます。

電源 スイッチをオフにします。

以上でセットアップ作業は終了です。
続いてコンピュータとの接続、プリンタドライバのインストールを行います。

ポイント

以上の操作が完了した時点で、用紙選択スイッチの設定は「ロール紙自動カット」になっています。コンピュータの接続とプリンタドライバのインストールを行った後、実際に印刷を行う際は、印刷する用紙に合わせて用紙選択スイッチを設定し直してください。

第 3 章

Windows 環境でのセットアップ

Win

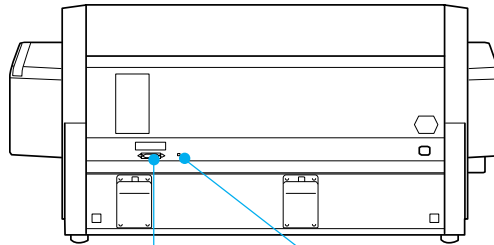
ここでは、Windows 環境で本機を使用するために必要なセットアップの方法について説明をしています。

セットアップの前に

Win

セットアップ方法のご案内

本機を Windows 環境のコンピュータでお使いいただく場合、コンピュータと接続する方法によってセットアップの方法が異なります。
初めに本機とコンピュータをパラレルインターフェイスケーブルまたはUSBケーブルのどちらで接続するかを決めてください。

USBケーブルで接続するためには、購入時、すでにWindows98がインストールされているコンピュータでUSBポートがあり、かつUSBポートが使用可能であることが条件になります。USBポートが使用できないコンピュータをお使いの場合は、パラレルインターフェイスケーブルで接続してください。

セットアップの方法については、それぞれ次のページを参照してください。

- パラレルインターフェイスでの接続　☞次ページ
- USB インターフェイスでの接続　☞35 ページ

• Macintosh 環境で接続する場合は 43 ページを参照してください。
• ネットワークインターフェイスカードを使用する場合は 51 ページを参照してください。
**• USBインターフェイスに接続する場合、プリンタの操作パネルで［プリンタセッテイメニュー］の［パラレルインターフェイス］を［ゴカン］に設定してください（初期設定値は［ゴカン］です）。
［パラレルインターフェイス］が［ECP］に設定されていると、USBインターフェイスが正常に動作しません。**

ポイント

パラレルインターフェイスとUSBインターフェイスを同時に使用することはできません。両方のインターフェイスにコンピュータを接続している場合、USBインターフェイスに接続しているコンピュータからのみ使用できます。

パラレルインターフェイスでの接続

システム条件の確認

より美しい画像を印刷するには、プリンタの性能に見合った適度な解像度の画像データを用意する必要があります。さらに出力サイズが大きくなればなるほど、お使いになるシステム環境が高性能であることも要求されます。
本機の性能を十分に発揮させるためには、以下のシステム条件を満たすことが必須です（A1ノビサイズ出力の場合）。

CPU	Pentium II 300MHz以上
メモリ	128MByte以上搭載（使用可能リソース30%以上）
ハードディスク	400MByte以上の空き容量
インターフェイス	IEEE1284対応パラレルインターフェイスポート搭載

接続ケーブルの用意

まず、プリンタとコンピュータを接続するためのケーブル（別売）を用意します。接続ケーブルには種類がありますので、接続するコンピュータや目的に応じた適切なケーブルをご用意ください。ケーブルの型番は2000年7月現在のものです。最新の型番については、FAXインフォメーションの資料にてご確認ください。FAXインフォメーションの詳細は、本書の裏表紙にてご案内しております。

	メーカー	機種	接続ケーブル	備考
DOS/V系	EPSON IBM、富士通、 東芝、他各社	DOS/V仕様機	PRCB4N	
	NEC	PC-98NXシリーズ		
98系	EPSON	EPSON PCシリーズデスクトップ	＃8238	*1　*2
		EPSON PCシリーズNOTE	市販品（ハーフピッチ20ピン）をご使用ください	*1
	NEC	PC-9821シリーズ、PC-H98	PRCB5N（ハーフピッチ36ピン）	*1

*1　Windows95/98の双方向通信機能およびEPSONプリンタウィンドウ!3は、コンピュータの機能制限により対応できません。
*2　ハーフピッチ36ピンのコンピュータにはPRCB5Nをご使用ください。

推奨ケーブル以外のケーブル、プリンタ切替機、ソフトウェアのコピー防止のためのプロテクタ（ハードウェアキー）などを、コンピュータとプリンタの間に装着すると、プラグアンドプレイやデータ転送が正常にできない場合があります。

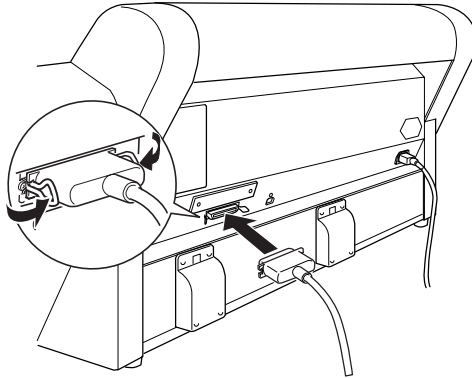
Win

パラレルインターフェイスケーブルの接続

プリンタとコンピュータの電源をどちらもオフにします。

プリンタ背面のコネクタにインターフェイスケーブルを接続します。

ケーブルのコネクタを左右の固定金具で固定します。

FG 線（グランド線）がついているときは、FG 線取り付けネジで固定します。

ケーブルのもう一方のコネクタをコンピュータに接続します。

コンピュータへの接続については、コンピュータの取扱説明書を参照してください。

USB インターフェイスでの接続

Win

システム条件の確認

より美しい画像を印刷するには、プリンタの性能に見合った適度な解像度の画像データを用意する必要があります。さらに出力サイズが大きくなればなるほど、お使いになるシステム環境が高性能であることも要求されます。
本機の性能を十分に発揮させるためには、以下のシステム条件を満たすことが必須です（A1 サイズ出力の場合）。
また、USB インターフェイスで接続する場合、コンピュータが USB ポートを使用できることも必要です。

CPU	Pentium II 300MHz 以上
メモリ	128MByte 以上搭載（使用可能リソース 30% 以上）
ハードディスク	400MByte 以上の空き容量
インターフェイス	USB ポートを搭載し、動作が保証されていること
OS	Windows98 プレインストール （購入時、すでに Windows98 がインストールされていること）

- **コンピュータの USB ポートに関しては、コンピュータメーカーにお問い合わせください。**
- **パラレルインターフェイスでのみ有効であるプリンタドライバの機能のEPSONプリンタポートおよび DMA 転送は USB ケーブル接続時はご利用いただけません。**
  ユーザーズガイド「環境設定」61 ページ
- **USBインターフェイスに接続する場合、プリンタの操作パネルで［プリンタセッテイメニュー］の［パラレルインターフェイス］を［ゴカン］に設定してください（初期設定値は［ゴカン］です）。［パラレルインターフェイス］が［ECP］に設定されていると、USBインターフェイスが正常に動作しません。**

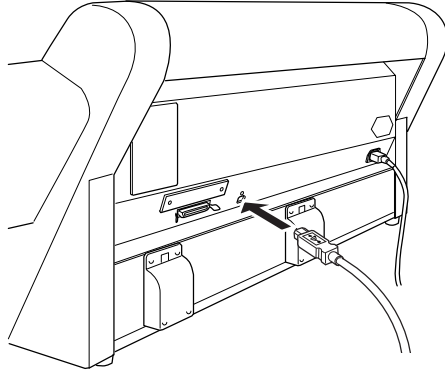
ポイント

本書の手順以外の方法でドライバをインストールしたり、接続ケーブルをパラレルインターフェイスケーブルからUSBインターフェイスケーブルに変更した場合は、プリンタの印刷先のポートを「EPUSBx:」に変更する必要があります。
ユーザーズガイド「プリンタ接続先の設定」81 ページ

接続ケーブルの用意

USB で接続するときには次のケーブル（別売）が必要です。
ケーブルの型番は2000年7月現在のものです。最新の型番については、FAX インフォメーションの資料にてご確認ください。FAXインフォメーションの詳細は、本書の裏表紙にてご案内しております。

- EPSON USB ケーブル（型番：USBCB1）

USB インターフェイスケーブルの接続

プリンタの電源をオフにします。

プリンタ背面のコネクタにインターフェイスケーブルを接続します。

ケーブルのもう一方のコネクタをコンピュータに接続します。
コンピュータへの接続については、コンピュータの取扱説明書を参照してください。

プリンタドライバのインストール

インストール

コンピュータとの接続が終了したら、プリンタドライバとEPSONプリンタウィンドウ!3をコンピュータにインストールします。USBインターフェイスで接続している場合は、EPSON USBプリンタデバイスドライバもインストールされます。
同梱のプリンタドライバを使用するために必要なハードウェアおよびシステム条件については33ページを参照してください。

ポイント

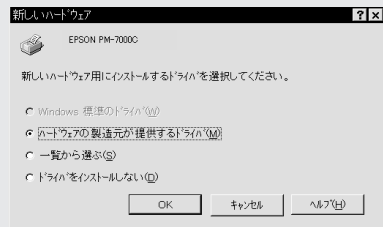
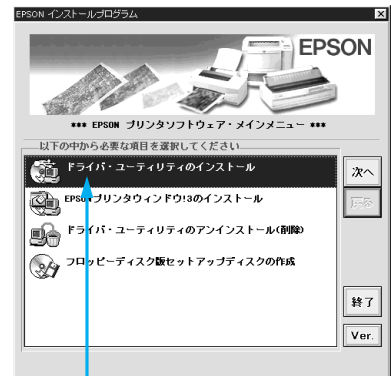
- **WindowsNT4.0プリンタドライバのインストールは、ご利用の環境のシステム管理者の方が実行してください。**
- **USBインターフェイスに接続する場合、プリンタの操作パネルで［プリンタセッテイメニュー］の［パラレルインターフェイス］を［ゴカン］に設定してください（初期設定値は［ゴカン］です）。**
  ［パラレルインターフェイス］が［ECP］に設定されていると、USBインターフェイスが正常に動作しません。

プリンタの電源をオフにします。

Windowsを起動し、「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

ポイント

次のようなプラグアンドプレイの画面が表示された場合はキャンセルしてください。

Win

ドライバ・ユーティリティのインストール ボタンをダブルクリックします。

ダブルクリックします

- 上の画面が表示されるまでに多少時間がかかります。
- 上の画面が表示されない場合は、「マイコンピュータ」をダブルクリックして、「CD-ROM」のアイコンをダブルクリックしてください。

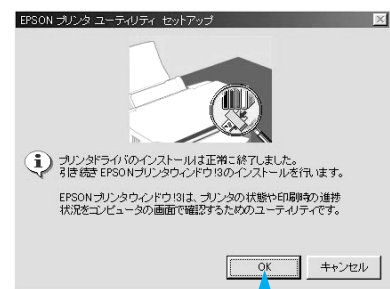
OK ボタンをクリックします。

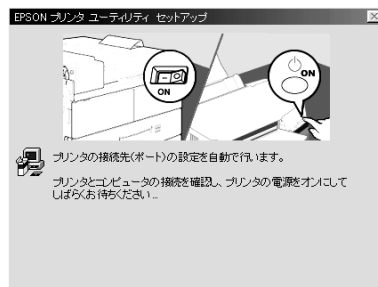
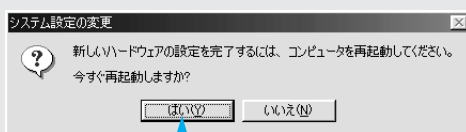
プリンタドライバのインストールが始まり、必要なファイルがコピーされます。

クリックします

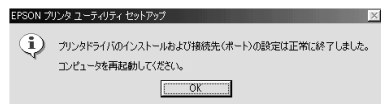
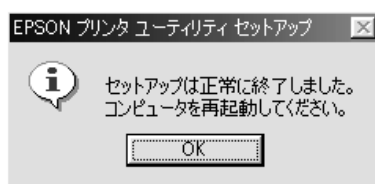
プリンタドライバのインストールに続いて、コンピュータ上からインク残量などプリンタの状態を監視できるユーティリティ「EPSON プリンタウィンドウ!3」をインストールします。
EPSON プリンタウィンドウ!3 をインストールしなくても印刷できますが、インストールしておくと印刷実行時にインク残量がわかるため便利です。
EPSON プリンタウィンドウ!3 の詳細は、ユーザーズガイドの「EPSON プリンタウィンドウ!3」を参照してください。

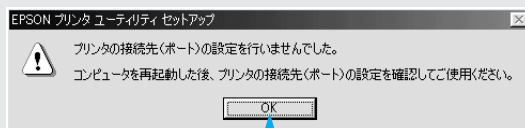
インストール終了画面で OK ボタンをクリックします。

EPSON プリンタウィンドウ!3 のインストールが始まります。Windows95/NT4.0 を使用している場合は 7 へ進みます。

クリックします

右の画面が表示されたら、プリンタの電源をオンにします。
プリンタの接続先が設定されます。USBインターフェイスで接続している場合は、EPSON USBプリンタデバイスドライバがインストールされます。インストールは自動的に進みますので、7の画面が表示されるまでお待ちください。

以下の画面が表示されたら
はい ボタンをクリックしてください。コンピュータが再起動したら、印刷先のポートを［LPT1:］から［EPUSBx:］に変更してください。
☞「プリンタの接続先の確認」P.40

クリックします

5の画面で、キャンセル ボタンをクリックしてから、プリンタの電源をオンにしても、コンピュータ上にコピーされているプログラムによってドライバのインストールは完了します。ただし、USB接続をご利用の場合は、印刷先のポートを［LPT1:］から［EPUSBx:］に変更してください。
☞「プリンタの接続先の確認」P.40

OK ボタンをクリックします。
コンピュータが再起動し、接続した本機が使用できるようになります。

Windows98

Windows95/NT4.0

以下の画面が表示されたらプリンタドライバまたはEPSON USBプリンタデバイスドライバが正常にインストールできません。
ユーザーズガイドの「USBケーブル接続時のトラブル」を参照し、各チェック項目に従って対処してください。

クリックします

プリンタの接続先の確認

Win

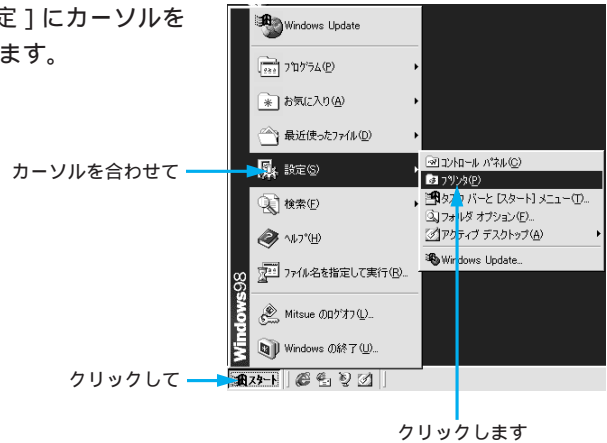
プリンタドライバが正しくインストールされているかを確認します。

1 **スタート ボタンをクリックし、[設定] にカーソルを合わせて [プリンタ] をクリックします。**

②カーソルを合わせて

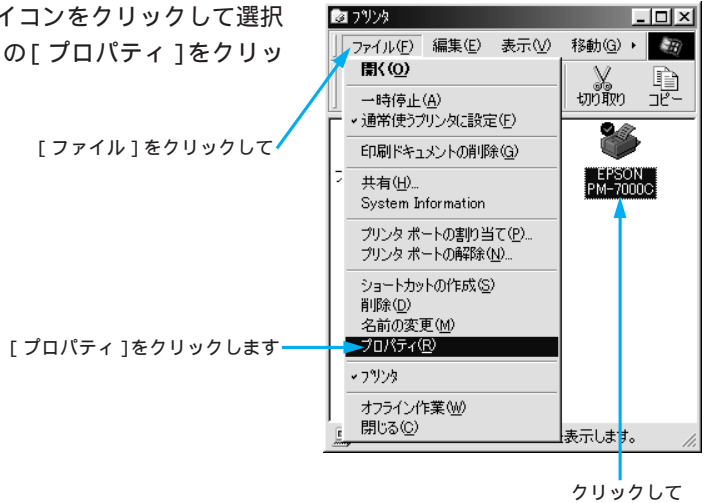
①クリックして

③クリックします

Windows Update
プログラム(P)
お気に入り(A)
最近使ったファイル(D)
設定(S)
検索(F)
ヘルプ(H)
ファイル名を指定して実行(R)...
Mitsue のログオフ(L)...
Windows の終了(U)...
Windows98
コントロール パネル(C)
プリンタ(P)
タスク バーと [スタート] メニュー(T)...
フォルダ オプション(F)...
アクティブ デスクトップ(A)
Windows Update...
スタート

2 **[EPSON PM-7000C] アイコンをクリックして選択し、[ファイル] メニュー内の [プロパティ] をクリックします。**

② [ファイル] をクリックして

③ [プロパティ] をクリックします

①クリックして

3 **「詳細」タブをクリックし、[印刷先のポート] を確認します。**

接続先が適切でない場合は変更します。

パラレル接続：LPT1:

USB 接続　　：EPUSBx:(EPSON PM-7000C)

印刷先のポートに [EPUSBx:] がない場合、プリンタドライバが正しくインストールされていない可能性があります。ユーザーズガイドの「USBケーブル接続時のトラブル」を参照し、各チェック項目に従って対処してください。

①クリックして

②確認します

EPSONプリンタウィンドウ!3の単独インストール

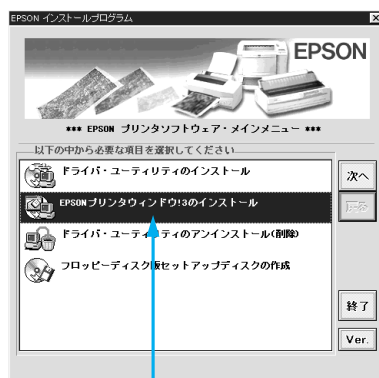
Win

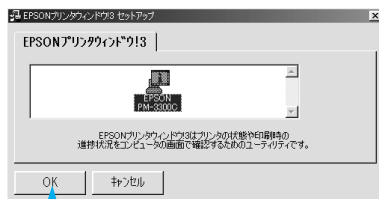
EPSONプリンタウィンドウ!3は、インク残量などプリンタの状態を監視できるユーティリティです。インストールしなくても印刷できますが、インストールしておくと印刷実行時にインク残量などがわかるため便利です。
EPSON プリンタウィンドウ!3 は、プリンタドライバのインストール終了後、引き続きインストールされます。プリンタドライバのインストール時にEPSONプリンタウィンドウ!3をインストールしなかった場合や、後で削除してしまった場合など、EPSONプリンタウィンドウ!3を単独でインストールする場合は、以下の手順に従ってインストールをしてください。

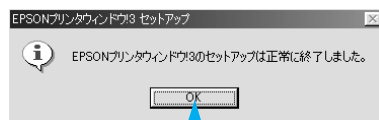
ポイント

WindowsNT4.0の場合、ローカルマシンの管理者権限（Administrator）のあるユーザーでログオンする必要があります。

1 ［プリンタソフトウェア CD-ROM］をコンピュータにセットします。

2
EPSONプリンタウィンドウ!3のインストール をダブルクリックします。

ダブルクリックします

3 **OK** ボタンをクリックします。

クリックします

4 **OK** ボタンをクリックします。

クリックします

これで EPSON プリンタウィンドウ!3 のインストールは終了です。
Windows を再起動すると、EPSON プリンタウィンドウ!3 が使用できるようになります。

印刷の流れ

Win

プリンタドライバのインストールが終了すると、印刷できるようになります。
印刷する操作の流れの概要は次の通りです。

印刷データを作成します

1

アプリケーションソフトなどで印刷するデータを作成します。

プリンタの準備をします

2

プリンタの電源をオンにします。
印刷する用紙をセットします。

ロール紙の場合　　☞「用紙のセット」23 ページ
その他の用紙の場合　☞ユーザーズガイド「用紙について」1 ページ

用紙に合わせてプリンタの 用紙選択 スイッチで用紙種類を選択します。

印刷を実行します

3

アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］（または［プリント］）を指定します。

設定を確認します

4

印刷ダイアログボックスのプリンタ名や印刷枚数などを確認します。
必要に応じて プロパティ ボタンをクリックしてプリンタの設定を確認します。

プリンタ名や印刷枚数を確認

クリック

基本設定や用紙設定の設定を確認

☞ユーザーズガイド「Windows からの印刷」35 ページ

印刷を開始します

5

印刷ダイアログボックスで OK ボタンをクリックします。

第 4 章
Macintosh 環境でのセットアップ

ここでは、Macintosh 環境で本機を使用するために必要なセットアップの方法について説明をしています。

システム条件の確認

より美しい画像を印刷するには、プリンタの性能に見合った適度な解像度の画像データを用意する必要があります。さらに出力サイズが大きくなればなるほど、お使いになるシステム環境が高性能であることも要求されます。
本機の性能を十分に発揮させるためには、以下のシステム条件を満たすことが必須です（A1サイズ出力の場合）。

機種	Power PC604e 300MHz以上
システムソフトウェア	Mac OS7.6.1以上
メモリ	フォアグラウンド時 ：21MByte以上搭載
	バックグラウンド時 ：34MByte以上
ハードディスク	400MByte以上の空き容量
インターフェイス	USBポートを搭載し、OSとの組み合わせで動作が保証されていること

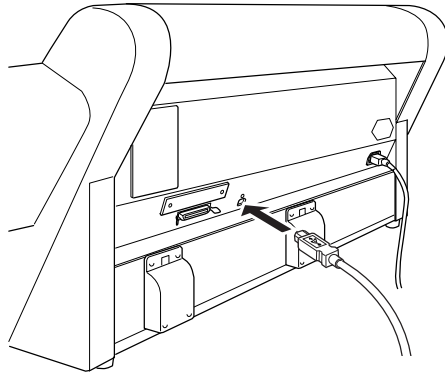
- **コンピュータのUSBポートに関しては、コンピュータメーカーにお問い合わせください。**
- **USBインターフェイスに接続する場合、プリンタの操作パネルで［プリンタセッテイメニュー］の［パラレルインターフェイス］を［ゴカン］に設定してください（初期設定値は［ゴカン］です）。［パラレルインターフェイス］が［ECP］に設定されていると、USBインターフェイスが正常に動作しません。**

接続ケーブルの用意

Macintosh に接続するときには次のケーブル（別売）が必要です。
ケーブルの型番は2000年7月現在のものです。最新の型番については、FAXインフォメーションの資料にてご確認ください。FAXインフォメーションの詳細は、本書の裏表紙にてご案内しております。

Mac

- EPSON USB ケーブル（型番：USBCB1）

Macintosh との接続

プリンタ背面のコネクタにインターフェイスケーブルを接続します。

ケーブルのもう一方のコネクタをコンピュータに接続します。
コンピュータへの接続については、コンピュータの取扱説明書を参照してください。

プリンタドライバのインストール

Mac

コンピュータとの接続が終了したら、プリンタドライバをコンピュータにインストールします。同梱のプリンタドライバを使用するために必要なハードウェアおよびシステム条件については44ページを参照してください。

1 プリンタの 電源 スイッチをオンにします。

2 Macintosh を起動し、「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

CD-ROM のウィンドウが開きます。

3 ［プリンタドライバのインストール］フォルダをダブルクリックし、右の画面で［インストーラ］アイコンをダブルクリックします。

「はじめにお読みください」の内容もお読みください。

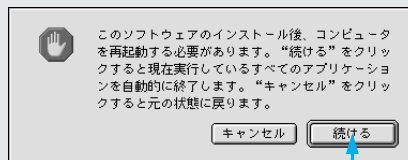
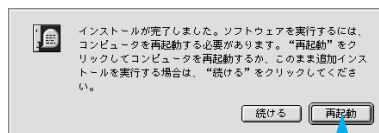
ダブルクリックします

4 続ける ボタンをクリックし、次画面で インストール ボタンをクリックします。

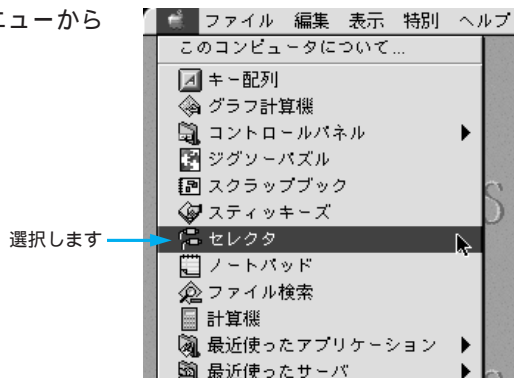
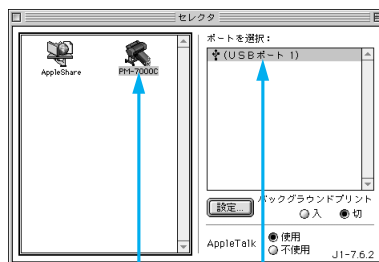
クリックします

クリックします

プリンタドライバのインストールが始まり、必要なファイルがコピーされます。

以下の画面が表示された場合は、続ける ボタンをクリックしてください。

クリックします

再起動 ボタンをクリックします。

プリンタドライバがインストールされました。続いて、セレクタでプリンタを選択します。

6 **Macintoshが再起動したら、アップルメニューから［セレクタ］を選択します。**

7 **プリンタドライバ［PM-7000C］をクリックし、USBポートを選択します。**

- ［PM-7000C］アイコンが表示されない場合は、以下のことを確認してください。
  - プリンタドライバが多い場合は表示しきれないことがあります。スクロールバーでウィンドウをスクロールさせてください。
  - 漢字Talk7.5以降に添付されているQuickDrawGXは使用できません。QuickDrawGXを使用停止にしてください。
- 表示されるポートの種類はMacintoshの機種により異なります。
- バックグランドプリントを［入］にすると、印刷中もMacintoshで他の作業ができます。

クローズボックスをクリックして画面を閉じます。
これでプリンタの選択が終了しました。

印刷の流れ

プリンタドライバのインストールが終了すると、印刷できるようになります。
印刷する操作の流れの概要は次の通りです。

1 印刷データを作成します

アプリケーションソフトなどで印刷するデータを作成します。

2 プリンタの準備をします

プリンタの電源をオンにします。
印刷する用紙をセットします。

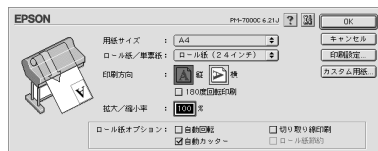
ロール紙の場合　☞「用紙のセット」23 ページ
その他の用紙の場合　☞ユーザーズガイド「用紙について」1 ページ

用紙に合わせてプリンタの 用紙選択 スイッチで用紙種類を選択します。

3 用紙を設定します

アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［用紙設定］（または［プリンタ設定］）を指定します。

4 設定を確認します

用紙設定ダイアログボックスの用紙サイズなどを確認します。

☞ユーザーズガイド「Macintosh からの印刷」87 ページ

5 印刷を実行します

アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［プリント］（または［印刷］）を指定します。

Mac

6 設定を確認します

印刷ダイアログボックスの印刷部数や用紙種類などを確認します。

☞ユーザーズガイド「Macintosh からの印刷」87 ページ

7 印刷を開始します

印刷ダイアログボックスで 印刷 ボタンをクリックします。

第 5 章

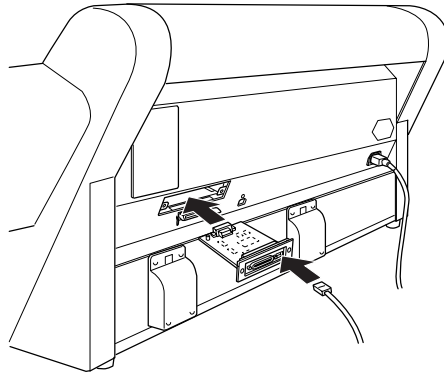
Network 環境との接続

Win

Mac

ここでは、Network 環境で本機を使用するための方法を紹介しています。

ネットワークインターフェイスの接続

ネットワーク環境下で接続をする場合は、本機に装着したインターフェイスカードとネットワーク側とをケーブルで接続します。

ネットワークに対応しているオプションのインターフェイスカードには、次のものがあります。

型番	名称	解説
PRIFNW1S	10Base-T/2 対応マルチプロトコル Ethernet I/F カード	本機を Ethernet で接続するための増設オプションです。 IPX/SPX（NetWare,Windows95/98/NT4.0）、TCP/IP（Windows95/98/NT4.0）、NetBEUI（Windows95/98/NT4.0, OS2/Warp）、AppleTalkに対応しています。 接続には、次のいずれかのケーブルが別途必要です。 • PRIFNW1S Ethernet 10Base2 シン（THIN）同軸ケーブルまたは Ethernet 10Base-T ツイストペアケーブル • PRIFNW2S Ethernet 10Base-T ツイストペアケーブル Ethernet 100Base-TX ツイストペアケーブル（カテゴリー 5）
PRIFNW2S	100Base-TX、10Base-T 対応マルチプロトコル EthernetI/F カード	
PRIF14	IEEE1394 対応 I/F カード	本機に IEEE-1394 規格（FireWire）のインターフェイスを増設するためのオプションです。

インターフェイスカードの取り付け方はユーザーズガイドの150ページを、その他の設定などについてはカードの取扱説明書を参照してください。

ポイント

- **本機をWindows95/98/NT4.0のピアトゥピア接続で共有する場合のプリントサーバー側、クライアント側それぞれの設定については、ユーザーズガイド 141 ページを参照してください。**
- **本機をオプションのインターフェイスカードで Ethernet 接続するためには、次のいずれかのケーブルが別途必要です。**
  PRIFNW1S：
  　Ethernet 10Base2 シン（THIN）同軸ケーブル
  　Ethernet 10Base-T ツイストペアケーブル
  PRIFNW2S：
  　Ethernet 10Base-T ツイストペアケーブル
  　Ethernet 100Base-TX ツイストペアケーブル（カテゴリー 5）
- **ネットワーク環境との接続は、Ethernet インターフェイスコネクタとネットワーク側（HUB）とを上記ケーブルで接続します。**

Win

Mac

接続後の手順

インターフェイスカード取り付け後、次のような操作が必要になります。

- インターフェイスカードの設定　　☞インターフェイスカードの取扱説明書
- クライアントコンピュータへのプリンタドライバのインストール
  Windowsの場合　　☞「プリンタドライバのインストール」37ページ
  Macintoshの場合　☞「プリンタドライバのインストール」47ページ

ただし、Macintoshの場合、セレクタでプリンタを選択する方法が異なります。
48ページの6以降を、次のように操作してください。

■ネットワーク接続時のプリンタ選択（Macintosh）

Macintoshが再起動したら、アップルメニューから［セレクタ］を選択します。

プリンタドライバ［PM-7000C］をクリックします。

> **［PM-7000C］アイコンが表示されない場合は、以下のことを確認してください。**
> - **プリンタドライバが多い場合は表示しきれないことがあります。スクロールバーでウィンドウをスクロールさせてください。**
> - **漢字Talk7.5以降に添付されているQuickDrawGXは使用できません。QuickDrawGXを使用停止にしてください。**

複数のAppleTalkネットワークがある場合は、［AppleTalkゾーン：］でプリンタが接続されているゾーンを選択し、右側のウィンドウでプリンタ名を選択します。

> **バックグランドプリントを［入］にすると、印刷中もMacintoshで他の作業ができます。**

クローズボックスをクリックして画面を閉じます。
これでプリンタの選択が終了しました。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。
また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

複製が禁止されている印刷物について

紙幣、有価証券などをプリンタで印刷すると、その印刷物の使用如何に拘わらず、法律に違反し、罰せられます。
（関連法律）
刑法　第148条、第149条、第162条
通貨及証券模造取締法　第1条、第2条　など

電波障害自主規制について　－注意－

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
本装置の接続において指定ケーブルを使用しない場合、VCCIルールの限界値を超えることが考えられますので、必ず指定されたケーブルを使用してください。

瞬時電圧低下について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。
電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。(社団法人日本電子工業振興協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示)

漏洩電流自主規制について

この装置は、社団法人日本電子工業振興協会のパソコン業界基準(PC-11-1988)に適合しております。

電源高調波について

この装置は、高調波抑制対策ガイドラインに適合しております。

国際エネルギースタープログラムについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

ご注意

(1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
(2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
(3) 本書の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
(4) 運用した結果の影響については、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
(5) 本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた障害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
(6) エプソン純正品および、エプソン品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。この場合、修理などは有償で行います。